

指 導 検 査 基 準 (指 定 地 域 移 行 支 援)

○根拠法令

「支援法」＝障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年11月7日法律第123号）

「支援法施行規則」＝障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行規則（平成18年2月28日厚労令第19号）

「厚労令27」＝障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定地域相談支援の事業の人員及び運営に関する基準（平成24年3月13日厚生労働省令第27号）

「平24厚労告124」＝障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定地域相談支援に要する費用の額の算定に関する基準（平成24年3月14日厚生労働省告示第124号）

「障発0330第21通知」＝障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定地域相談支援の事業の人員及び運営に関する基準について（平成24年3月30日障発0330第21号）

「障発1031001通知」＝障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス等及び基準該当障害福祉サービスに要する費用の額の算定に関する基準等の制定に伴う実施上の留意事項について（平成18年10月31日障発第1031001号）

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
第1 基本方針	<p>(1) 指定地域移行支援の事業は、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者につき、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談その他の必要な支援が、保健、医療、福祉、就労支援、教育等の関係機関との密接な連携の下で、当該利用者の意向、適性、障害の特性その他の状況及びその置かれている環境に応じて、適切かつ効果的に行われているか。</p> <p>(2) 指定地域移行支援の事業は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立って行われているか。</p> <p>(3) 指定地域移行支援の事業を行う指定一般相談支援事業者（以下、「指定地域移行支援事業者」という。）は、自らその提供する指定地域移行支援の質の評価を行い、常にその改善を図っているか。</p> <p>(4) 指定地域移行支援事業者は、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、その従業者に対し、研修を実施する等の措置を講じているか。</p>	<p>支援法第51条の23</p> <p>厚労令27 第2条第1項</p> <p>厚労令27 第2条第2項</p> <p>厚労令27 第2条第3項</p> <p>厚労令27 第2条第4項 令和8年4月30日付8福祉障発第299号 「施設・事業所における虐待防止体制の整備の徹底について」（通知）</p>	
第2 人員に関する基準		支援法第51条の23 第1項	
1 従業者	<p>(1) 指定地域移行支援事業者は、事業所ごとに専ら指定地域移行支援の職務に従事する者（以下、「指定地域移行支援従事者」とする。）を、必ず1人以上置いているか。 （ただし、指定地域移行支援の業務に支障がない場合は、当該指定地域移行支援事業所の他の職務に従事させ、又は他の事業所、施設等の職務に従事することは差し支えない。）</p>	<p>厚労令27 第3条第1項 障発0330第21通知 第二1の（1）</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
2 管理者	<p>(2) 指定地域移行支援従事者のうち1人以上は、相談支援専門員（指定地域相談支援の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるものをいう。）となっているか。</p> <p>指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援事業所ごとに専らその職務に従事する管理者を置いているか。 （ただし、指定地域移行支援事業所の管理上支障がない場合は、当該事業所の他の職務に従事させ、又は他の事業所、施設等の職務に従事することは差し支えない。）</p>	<p>厚労令27 第3条第2項 指定地域相談支援の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの（平成24年3月30日厚生労働省告示第226号）</p> <p>厚労令27 第4条</p>	
第3 運営に関する基準		支援法第51条の23 第2項	
1 内容及び手続の説明及び同意	<p>(1) 指定地域移行支援事業者は、地域相談支援給付決定障害者が指定地域移行支援の利用の申込みを行ったときは、当該利用申込者に係る障害の特性に応じた適切な配慮をしつつ、当該利用申込者に対し、運営規程の概要その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該指定地域移行支援の提供の開始について当該利用申込者の同意を得ているか。</p> <p>(2) 利用者との間で当該指定地域移行支援の提供に係る契約が成立したときは、利用者の障害の特性に応じた適切な配慮をもって、社会福祉法（昭和26年法律第45号）第77条第1項の規定に基づき、 ア 当該事業の経営者の名称及び主たる事務所の所在地 イ 当該事業の経営者が提供する指定地域移行支援の内容 ウ 当該指定地域移行支援の提供につき利用者が支払うべき額に関する事項 エ 指定地域移行支援の提供開始年月日 オ 指定地域移行支援に係る苦情を受け付けるための窓口 を記載した書面を交付しているか。 なお、当該書面に記載すべき事項を電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法による場合、利用者の承諾を得ているか。</p>	<p>厚労令27 第5条第1項</p> <p>厚労令27 第5条第2項 社会福祉法 第77条第1項 社会福祉法施行規則 第16条第2項</p> <p>障発0330第21通知 第二の2（1）</p>	
2 契約内容の報告等	指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援の利用に係る契約をしたときは、その旨を区市町村に対し遅滞なく報告しているか。	厚労令27 第6条	
3 提供拒否の禁止	<p>指定地域移行支援事業者は、正当な理由がなく指定地域移行支援の提供を拒んでいないか。 特に、障害支援区分や所得の多寡を理由にサービスの提供を拒否していないか。 なお、正当な理由がある場合とは、</p> <p>(1) 当該事業所の現員からは利用申込みに応じきれない場合</p> <p>(2) 利用申込者の入所、入院等する障害者支援施設等、精神科病院、救護施設等又は刑事施設等が当該事業所の通常の事業の実施地域外である場合</p>	<p>厚労令27 第7条 障発0330第21通知 第二の2（3）</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
	(3) 運営規程において主たる対象とする障害の種類を定めている場合であって、これに該当しない者から利用申込みがあった場合		
	(4) その他利用申込者に対し自ら適切な指定地域移行支援を提供することが困難な場合等をいう。		
4 連絡調整に対する協力	指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援の利用について区市町村又は指定特定相談支援事業を行う者が行う連絡調整に、できる限り協力しているか。 区市町村又は特定相談支援事業者が行う利用者の紹介、地域のサービス担当者会議への出席依頼等の連絡調整等に協力しているか。	厚労令27 第8条 障発0330第21通知 第二の2(4)	
5 サービス提供困難時の対応	指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援事業所の通常の実施地域等を勘案し、利用申込者に対し自ら適切な指定地域移行支援を提供することが困難であると認めた場合は、適当な他の指定地域移行支援事業者の紹介その他の必要な措置を速やかに講じているか。	厚労令27 第9条	
6 受給資格の確認	指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援の提供を求められた場合は、その者の提示する地域相談支援受給者証によって、地域相談支援給付費の支給対象者であること、地域相談支援給付決定の有無、地域相談支援給付決定の有効期間、地域相談支援給付量等を確かめているか。	厚労令27 第10条	
7 地域相談支援給付決定の申請に係る援助	(1) 指定地域移行支援事業者は、地域相談支援給付決定を受けていない者から利用の申込みがあった場合は、その者の意向を踏まえて速やかに地域相談支援給付決定の申請が行われるよう必要な援助を行っているか。	厚労令27 第11条第1項	
8 心身の状況等の把握	(2) 指定地域移行支援事業者は、地域相談支援給付決定に通常要すべき標準的な期間を考慮し、地域相談支援給付決定の有効期間の終了に伴う地域相談支援給付決定の申請について、必要な援助を行っているか。	厚労令27 第11条第2項	
9 指定障害福祉サービス事業者等との連携等	指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援の提供に当たっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境、他の保健医療サービス又は福祉サービスの利用状況等の把握に努めているか。	厚労令27 第12条	
10 身分を証する書類の携行	(1) 指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援の提供に当たっては、地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行い、区市町村、指定障害福祉サービス事業者等その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めているか。	厚労令27 第13条第1項	
11 サービスの提供の記録	(2) 指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援の提供の終了に際しては、利用者又はその家族に対して適切な援助を行うとともに、区市町村、指定障害福祉サービス事業者等その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めているか。	厚労令27 第13条第2項	
	指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援従事者に身分を証する書類（証書や名札等）を携行させ、初回訪問時及び利用者又はその家族から求められたときは、これを提示すべき旨を指導しているか。 また、証書や名札等には、事業所の名称、当該従業者の氏名の記載があるか。	厚労令27 第14条 障発0330第21通知 第二の2(8)	
	(1) 指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援を提供した際は、当該指定地域移行支援の提供日、提供したサービスの具体的内容等の利用者へ伝達すべき必要な事項を、当該指定地域移行支援の提供の都度、記録しているか。	厚労令27 第15条第1項 障発0330第21通知 第二の2(9)①	
	(2) 指定地域移行支援事業者は、(1)の規定による記録に際しては、地域相談支援給付決定障害者から指定地域移行支援を提供したことについて確認を受けているか。	厚労令27 第15条第2項	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
12 指定地域移行支援事業者が地域相談支援給付決定障害者に求めることのできる金銭の支払の範囲等	<p>(1) 指定地域移行支援事業者が、指定地域移行支援を提供する地域相談支援給付決定障害者に対して金銭の支払を求めることができるのは、当該金銭の使途が直接利用者の便益を向上させるものであって、当該地域相談支援給付決定障害者に支払を求めることが適当であるものに限られているか。また、指定地域移行支援のサービス提供の一環として行われるものではないサービスの提供に要する費用であるか。</p> <p>(2) (1)の規定により金銭の支払を求める際は、当該金銭の使途及び額並びに地域相談支援給付決定障害者に金銭の支払を求める理由について書面によって明らかにするとともに、地域相談支援給付決定障害者に対し説明を行い、その同意を得ているか。 (ただし、13の(1)及び(2)に掲げる支払については、この限りでない。)</p>	<p>厚労令27 第16条第1項 障発0330第21通知 第二の2(10)①</p> <p>厚労令27 第16条第2項 障発0330第21通知 第二の2(10)②</p>	
13 地域相談支援給付費の額等の受領	<p>(1) 指定地域移行支援事業者は、法定代理受領を行わない指定地域移行支援を提供した際は、地域相談支援給付決定障害者から当該指定地域移行支援につき支援法51条の14第3項に規定する厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額(その額が現に当該指定地域相談支援に要した費用の額を超えるときは、当該現に指定地域相談支援に要した費用の額)の支払いを受けているか。</p> <p>(2) 指定地域移行支援事業者は、(1)の支払を受ける額のほか、地域相談支援給付決定障害者の選定により通常の事業の実施地域以外の地域の利用者を訪問して指定地域移行支援を提供する場合には、地域相談支援給付決定障害者からそれに要した交通費の額の支払いを受けているか。</p> <p>(3) 指定地域移行支援事業者は、(1)及び(2)までに掲げる費用の額の支払を受けた場合は、当該費用に係る領収証を当該費用の額を支払った地域相談支援給付決定障害者に対し交付しているか。</p> <p>(4) 指定地域移行支援事業者は、(2)の交通費については、あらかじめ、地域相談支援給付決定障害者に対し、当該サービス内容及び費用について説明を行い、地域相談支援給付決定障害者の同意を得ているか。</p>	<p>厚労令27 第17条第1項</p> <p>厚労令27 第17条第2項</p> <p>厚労令27 第17条第3項</p> <p>厚労令27 第17条第4項</p>	
14 地域相談支援給付費の額に係る通知等	<p>(1) 指定地域移行支援事業者は、法定代理受領により区市町村から指定地域移行支援に係る地域相談支援給付費の支給を受けた場合は、地域相談支援給付決定障害者に対し、当該地域相談支援給付決定障害者に係る地域相談支援給付費の額を通知しているか。</p> <p>(2) 指定地域移行支援事業者は、13の(1)の法定代理受領を行わない指定地域移行支援に係る費用の額の支払を受けた場合は、その提供した指定地域移行支援の内容、費用の額その他必要と認められる事項を記載したサービス提供証明書を地域相談支援給付決定障害者に対して交付しているか。</p>	<p>厚労令27 第18条第1項</p> <p>厚労令27 第18条第2項</p>	
15 指定地域移行支援の具体的取扱方針	<p>指定地域移行支援の方針は、第1に規定する基本方針に基づき、次に掲げるところとなっているか。</p> <p>(1) 指定地域移行支援事業所の管理者は、指定地域移行支援従事者に、基本相談支援に関する業務及び地域移行支援計画の作成その他指定地域移行支援に関する業務を担当させているか。</p>	<p>厚労令27 第19条第1号</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
16 地域移行支援計画の作成等	(2) 指定地域移行支援事業所の管理者は、相談支援専門員に、相談支援専門員以外の指定地域移行支援従事者に対する技術的指導及び助言を行わせているか。	厚労令27 第19条第2号	
	(3) 指定地域移行支援事業者は、地域移行支援計画に基づき、利用者の心身の状況等に応じて、その者の支援を適切に行うとともに、指定地域移行支援の提供が漫然かつ画一的なものとならないように配慮しているか。	厚労令27 第19条第3号	
	(4) 指定地域移行支援の提供に当たっては、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の意思決定支援に配慮しているか。	厚労令27 第19条第4号	
	(5) 指定地域移行支援の提供に当たっては、利用者の立場に立って懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者又はその家族に対し、サービスの提供方法等について、理解しやすいように説明を行うとともに、必要に応じ、同じ障害を有する者による支援等適切な手法を通じて行うものとしているか。	厚労令27 第19条第5号	
	(1) 指定地域移行支援従事者は、利用者の意向、適性、障害の特性その他の事情を踏まえた指定地域移行支援に係る計画（以下「地域移行支援計画」という。）を作成しているか。	厚労令27 第20条第1項	
	(2) 指定地域移行支援従事者は、地域移行支援計画の作成に当たっては、適切な方法により、利用者について、その心身の状況、その置かれている環境及び日常生活全般の状況等の評価を通じて利用者の希望する生活や課題等の把握（アセスメント）を行い、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように支援する上での適切な支援内容の検討をしているか。	厚労令27 第20条第2項	
	(3) 指定地域移行支援従事者は、アセスメントに当たって、利用者が自らの意思決定に困難を抱える場合、利用者の意思及び選好並びに判断能力等、丁寧に把握しているか。	厚労令27 第20条第3項	
	(4) 指定地域移行支援従事者は、アセスメントに当たって、利用者に面接しているか。この場合において、指定地域移行支援従事者は、面接の趣旨を利用者に対して十分に説明し、理解を得ているか。	厚労令27 第20条第4項	
	(5) 指定地域移行支援従事者は、アセスメント及び支援内容の検討結果に基づき、利用者及びその家族の生活に対する意向、総合的な支援の方針、生活全般の質を向上させるための課題、地域移行支援の目標及びその達成時期並びに地域移行支援を提供する上での留意事項等を記載した地域移行支援計画の原案を作成しているか。 この場合において、当該指定地域移行支援事業所が提供する指定地域移行支援以外の保健医療サービス又はその他の福祉サービスとの連携も含めて地域移行支援計画の原案に位置付けるように努めているか。	厚労令27 第20条第5項	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
	<p>(6) 指定地域移行支援従事者は、計画作成会議（地域移行支援計画の作成に当たり、当該利用者に係る障害者支援施設等、精神科病院、救護施設等又は刑事施設等における担当者等を招集して行う会議をいい、テレビ電話装置その他の情報通信機器（以下「テレビ電話装置等」という。）を活用して行うことができるものとする。）を開催し、地域移行支援計画の原案の内容について意見を求めているか。</p> <p>(7) 指定地域移行支援従事者は、地域移行支援計画の作成に当たっては、利用者又はその家族に対して説明し、文書により利用者の同意を得ているか。</p> <p>(8) 指定地域移行支援従事者は、地域移行支援計画を作成した際には、当該地域移行支援計画を利用者に交付しているか。</p> <p>(9) 指定地域移行支援従事者は、地域移行支援計画の作成後においても、適宜、地域移行支援計画の見直しを行い、必要に応じて、地域移行支援計画の変更を行っているか。</p> <p>(10) 地域移行支援計画に変更のあった場合、（2）から（8）に準じて取り扱っているか。</p>	<p>厚労令27 第20条第6項</p> <p>厚労令27 第20条第7項</p> <p>厚労令27 第20条第8項</p> <p>厚労令27 第20条第9項</p> <p>厚労令27 第20条第10項</p>	
17 地域における生活に移行するための活動に関する支援	<p>(1) 指定地域移行支援事業者は、利用者に対し、住居の確保その他の地域における生活に移行するための活動に関する相談、外出の際の同行、障害福祉サービス（生活介護、自立訓練、就労移行支援及び就労継続支援に限る。18において同じ。）の体験的な利用支援、体験的な宿泊支援その他の必要な支援を提供するに当たっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境及び日常生活全般の状況等の的確な把握に努めているか。</p> <p>(2) 指定地域移行支援事業者は、利用者に対して（1）の支援を提供するに当たっては、おおむね週に1回以上、利用者との対面により行っているか。</p>	<p>厚労令27 第21条第1項</p> <p>厚労令27 第21条第2項</p>	
18 障害福祉サービスの体験的な利用支援	指定地域移行支援事業者は、障害福祉サービスの体験的な利用支援について、障害福祉サービス事業者への委託により行っているか。	厚労令27 第22条	
19 体験的な宿泊支援	<p>指定地域移行支援事業者は、体験的な宿泊支援について、次の（1）及び（2）に定める要件を満たす場所において行っているか。</p> <p>(1) 利用者が体験的な宿泊を行うために必要な広さの居室を有するとともに、体験的な宿泊に必要な設備及び備品を備えていること。</p> <p>(2) 衛生的に管理されている場所であること。</p> <p>なお、指定地域移行支援事業者は、体験的な宿泊支援について、指定障害福祉サービス事業者等への委託により行うことができる。</p>	<p>厚労令27 第23条第1項</p> <p>厚労令27 第23条第2項</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
20 関係機関との連絡調整等	指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援を提供するに当たっては、区市町村、指定障害福祉サービス事業者等その他の退院又は退所後の地域における生活に係る関係機関との連絡調整その他の便宜の供与を行っているか。	厚労令27第24条	
21 地域相談支援給付決定障害者に関する区市町村への通知	指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援を受けている地域相談支援給付決定障害者が偽りその他不正な行為によって地域相談支援給付費の支給を受け、又は受けようとしたときは、遅滞なく、意見を付してその旨を区市町村に通知しているか。	厚労令27第25条	
22 管理者の責務	(1) 指定地域移行支援事業所の管理者は、指定地域移行支援従事者その他の従業者の管理、指定地域移行支援の利用申込みに係る調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行っているか。	厚労令27第26条第1項	
	(2) 指定地域移行支援事業所の管理者は、当該指定地域移行支援事業所の指定地域移行支援従事者に、厚労令27第2章の規定を遵守させるために必要な指揮命令を行っているか。	厚労令27第26条第2項	
23 運営規程	指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援事業所ごとに、次に掲げる事業の運営についての重要事項に関する運営規程を定めてあるか。 (1) 事業の目的及び運営の方針 (2) 従業者の職種、員数及び職務の内容 (3) 営業日及び営業時間 (4) 指定地域移行支援の提供方法及び内容並びに地域相談支援給付決定障害者から受領する費用の種類及びその額 (5) 通常の事業の実施地域 (6) 事業の主たる対象とする障害の種類を定めた場合には当該障害の種類 (7) 虐待の防止のための措置に関する事項 (8) その他運営に関する重要事項	厚労令27第27条	
24 勤務体制の確保等	(1) 指定地域移行支援事業者は、利用者に対し、適切な指定地域移行支援を提供できるよう、指定地域移行支援事業所ごとに、指定地域移行支援従業者その他の従業者の勤務体制を定めているか。 原則として月ごとの勤務表を作成し、従業者については、日々の勤務時間、職務の内容、常勤・非常勤の別、管理者との兼務関係等を明確にしているか。 (2) 指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援事業所ごとに、当該指定地域移行支援事業所の地域移行支援従業者によって指定地域移行支援を提供しているか。 (ただし、18及び19により指定障害福祉サービス事業者等への委託により行われる障害福祉サービスの体験的な利用支援及び体験的な宿泊支援並びに利用者の退院又は退所後の居住予定地が遠隔地にある場合における他の指定地域移行支援事業者への委託により行われる住居の確保及び関係機関との連絡調整その他の便宜の供与についてはこの限りでない。) (3) 指定地域移行支援事業者は、(2)のただし書の規定により指定地域移行支援に係る業務の一部を他の指定地域移行支援事業者に行わせる場合にあっては、当該事業者の業務の実施状況について定期的に確認し、その結果等を記録しているか。	厚労令27第28条第1項 障発0330第21通知第二の2(22)① 厚労令27第28条第2項 厚労令27第28条第3項	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
24の2 業務継続計画の策定等	<p>(4) 指定地域移行支援事業者は、従業員の資質の向上のために、その研修の機会を確保しているか。 研修機関が実施する研修や当該指定地域移行支援事業所内の研修への参加の機会を計画的に確保しているか。</p> <p>(5) 指定地域移行支援事業者は、適切な指定地域移行支援の提供を確保する観点から、職場において行われる性的な言動又は優越的な関係を背景とした言動であって業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより従業員の就業環境が害されることを防止するための方針の明確化等の必要な措置を講じているか。</p> <p>(1) 指定地域移行支援事業者は、感染症や非常災害の発生時において、利用者に対する指定地域移行支援の提供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（以下「業務継続計画」という。）を策定し、当該業務継続計画に従い必要な措置を講じているか。</p>	<p>厚労令27 第28条第4項 障発0330第21通知 第二の2（22）④</p> <p>厚労令27 第28条第5項 障発0330第21通知 第二の2（23）</p> <p>厚労令27 第28条の2第1項 障発0330第21通知 第二の2（23）</p>	
25 設備及び備品等	<p>(2) 指定地域移行支援事業者は、従業員に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的実施しているか。</p> <p>(3) 指定地域移行支援事業者は、定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行っているか。</p> <p>指定地域移行支援事業者は、事業を行うために必要な広さの区画を有するとともに、指定地域移行支援の提供に必要な設備及び備品等を備えているか。（貸与を受けているものでも可）</p> <p>(1) 専用の事務室又は明確に特定されている区画があるか。</p> <p>(2) 申込みの受付、相談、計画作成会議等に対応するのに適切なスペースを確保しているか。</p> <p>(3) 必要な設備・備品等を確保しているか。（ただし、同一敷地内にある事業所、施設ごとと運営上支障がない場合は、他の事業所、施設等の設備及び備品等を使用することは差し支えない。）</p>	<p>厚労令27 第28条の2第2項</p> <p>厚労令27 第28条の2第3項</p> <p>厚労令27 第29条 障発0330第21通知 第二の2（24）</p>	
26 衛生管理等	<p>(1) 指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援従事者の清潔の保持及び健康状態について、必要な管理を行っているか。</p> <p>(2) 指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援事業所の設備及び備品等について、衛生的な管理に努めているか。</p> <p>(3) 指定地域移行支援事業者は、当該指定地域移行支援事業所において感染症が発生し、又はまん延しないように、次に掲げる措置を講じているか。</p> <p>ア 当該指定地域移行支援事業所における感染症の予防及びまん延の防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。）を定期的に開催するとともに、その結果について、従業員に周知徹底を図ること。</p> <p>イ 当該指定地域移行支援事業所における感染症の予防及びまん延の防止のための指針を整備すること。</p> <p>ウ 当該指定地域移行支援事業所において、従業員に対し、感染症の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練を定期的実施すること。</p>	<p>厚労令27 第30条第1項</p> <p>厚労令27 第30条第2項</p> <p>厚労令27 第30条第3項 障発0330第21通知 第二の2（25）②</p>	
27 掲示等	<p>(1) 指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援事業所の見やすい場所に、運営規程の概要、基本相談支援及び地域移行支援の実施状況、指定地域移行支援従事者の有する資格、経験年数及び勤務の体制その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を掲示しているか。</p>	<p>厚労令27 第31条第1項</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
28 秘密保持等	<p>(2) 指定地域移行支援事業者は、(1)に規定する事項を記載した書面を当該指定地域移行支援事業所に備え付け、かつ、これをいつでも関係者に自由に閲覧させることにより、(1)の規定による掲示に代えることができる。</p> <p>(3) 指定地域移行支援事業者は、(1)に規定する重要事項の公表に努めているか。</p>	<p>厚労令27 第31条第2項</p> <p>厚労令27 第31条第3項</p>	
29 情報の提供等	<p>(1) 指定地域移行支援事業所の従業者及び管理者は、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らしていないか。</p> <p>(2) 指定地域移行支援事業者は、従業者及び管理者であった者が、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らすことがないように、必要な措置を講じているか。</p> <p>(3) 指定地域移行支援事業者は、計画作成会議等において、利用者又はその家族の個人情報を用いる場合は、あらかじめ文書により当該利用者又はその家族の同意を得ているか。</p>	<p>厚労令27 第32条第1項</p> <p>厚労令27 第32条第2項</p> <p>厚労令27 第32条第3項</p>	
30 利益供与等の禁止	<p>(1) 指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援を利用しようとする者が、これを適切かつ円滑に利用することができるように、当該指定地域移行支援事業者が実施する事業の内容に関する情報の提供を行うよう努めているか。</p> <p>(2) 指定地域移行支援事業者は、当該指定地域移行支援事業者について広告をする場合においては、その内容が虚偽又は誇大なものとなっていないか。</p>	<p>厚労令27 第33条第1項</p> <p>厚労令27 第33条第2項</p>	
31 苦情解決	<p>(1) 指定地域移行支援事業者は、指定特定相談支援事業者若しくは障害福祉サービスの事業を行う者等又はその従業者に対し、利用者又はその家族に対して当該指定地域移行支援事業者を紹介することの対償として、金品その他の財産上の利益を供与していないか。</p> <p>(2) 指定地域移行支援事業者は、指定特定相談支援事業者若しくは障害福祉サービスの事業を行う者等又はその従業者から、利用者又はその家族を紹介することの対償として、金品その他の財産上の利益を収受していないか。</p>	<p>厚労令27 第34条第1項</p> <p>厚労令27 第34条第2項</p>	
	<p>(1) 指定地域移行支援事業者は、その提供した指定地域移行支援に関する利用者又はその家族からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、苦情を受け付けるための窓口を設置する等の必要な措置を講じているか。</p> <p>(2) 指定地域移行支援事業者は、(1)の苦情を受け付けた場合には、当該苦情の内容等について記録しているか。</p> <p>(3) 指定地域移行支援事業者は、その提供した指定地域移行支援に関し、支援法第10条第1項の規定により区市町村が行う報告若しくは文書その他の物件の提出若しくは提示の命令又は当該職員からの質問若しくは指定地域移行支援事業所の設備若しくは帳簿書類その他の物件の検査に応じ、及び利用者又はその家族からの苦情に関して区市町村が行う調査に協力するとともに、区市町村から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行っているか。</p> <p>(4) 指定地域移行支援事業者は、その提供した指定地域移行支援に関し、支援法第11条第2項の規定により都道府県知事が行う報告若しくは指定地域移行支援の提供の記録、帳簿書類その他の物件の提出若しくは提示の命令又は当該職員からの質問に応じ、及び利用者又はその家族からの苦情に関して都道府県知事が行う調査に協力するとともに、都道府県知事から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行っているか。</p>	<p>厚労令27 第35条第1項</p> <p>厚労令27 第35条第2項</p> <p>厚労令27 第35条第3項</p> <p>厚労令27 第35条第4項</p>	

項 目	基本的な考え方	根拠法令	備 考
32 事故発生時の対応	<p>(5) 指定地域移行支援事業者は、その提供した指定地域移行支援に関し、支援法第51条の27第1項の規定により都道府県知事又は区市町村長が行う報告若しくは帳簿書類その他の物件の提出若しくは提示の命令又は当該職員からの質問若しくは指定地域移行支援事業所の設備若しくは帳簿書類その他の物件の検査に応じ、及び利用者又はその家族からの苦情に関して都道府県知事又は区市町村長が行う調査に協力するとともに、都道府県知事又は区市町村長から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行っているか。</p> <p>(6) 指定地域移行支援事業者は、都道府県知事、区市町村又は区市町村長から求めがあった場合には、(3)から(5)までの改善の内容を都道府県知事、区市町村又は区市町村長に報告しているか。</p> <p>(7) 指定地域移行支援事業者は、社会福祉法第83条に規定する運営適正化委員会が同法第85条の規定により行う調査又はあっせんにできる限り協力しているか。</p> <p>(1) 指定地域移行支援事業者は、利用者に対する指定地域移行支援の提供により事故が発生した場合は、都道府県、区市町村、当該利用者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じているか。 なお、都への報告対象事故等については、以下のとおり。 ア 死亡事故（誤嚥によるもの等） イ 入院を要した事故（持病による入院等は除く） ウ（イ以外の）医療機関での治療を要する負傷や疾病を伴う事故 エ 薬の誤与薬（誤与薬後、利用者の様子に変化がある場合は要報告） オ 無断外出 カ 感染症の集団感染 キ 送迎中の事故及び送迎車両の車内への利用者の置き去り事故 ク 事件性のあるもの（職員による暴力事件等） ケ 保護者や関係者とのトラブル発生が予想されるもの コ 施設運営上の事故の発生（不正会計処理、送迎中の交通事故、個人情報の流出等） サ 区市町村に虐待通報をした場合（通報した内容等） シ その他特に報告の必要があると施設が判断したもの</p> <p>(2) 指定地域移行支援事業者は、(1)の事故の状況及び事故に際して採った処置について、記録しているか。</p> <p>(3) 指定地域移行支援事業者は、利用者に対する指定地域移行支援の提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行っているか。</p>	<p>厚労令27 第35条第5項</p> <p>厚労令27 第35条第6項</p> <p>厚労令27 第35条第7項</p> <p>厚労令27 第36条第1項 令和8年4月30日付8福 社障施第298号「施 設・事業所における 事故等防止対策の徹 底について」(通知)</p> <p>厚労令27 第36条第2項</p> <p>厚労令27 第36条第3項</p>	
33 虐待の防止	<p>指定地域移行支援事業者は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次に掲げる措置を講じているか。</p> <p>ア 当該指定地域移行支援事業所における虐待の防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。）を定期的に開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図ること。 イ 当該指定地域移行支援事業所において、従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的実施すること。 ウ ア及びイに掲げる措置を適切に実施するための担当者を置くこと。</p>	<p>厚労令27 第36条の2 令和8年4月30日付8福 社障施第299号「施 設・事業所における 虐待防止体制の整備 の徹底について」 (通知)</p>	
34 会計の区分	<p>指定地域移行支援事業者は、指定地域移行支援事業所ごとに経理を区分するとともに、指定地域移行支援の事業の会計をその他の事業の会計と区分しているか。</p>	<p>厚労令27 第37条</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
35 記録の整備	<p>(1) 指定地域移行支援事業者は、従業者、設備、備品及び会計に関する諸記録を整備してあるか。</p> <p>(2) 指定地域移行支援事業者は、利用者に対する指定地域移行支援の提供に関する諸記録を整備し、少なくとも次に掲げる記録を当該指定地域移行支援を提供した日から5年間保存しているか。</p> <p>ア 11に規定する指定地域移行支援の提供に係る記録</p> <p>イ 16に規定する地域移行支援計画</p> <p>ウ 21に規定する区市町村への通知に係る記録</p> <p>エ 31に規定する苦情の内容等に係る記録</p> <p>オ 32に規定する事故の状況及び事故に際して採った処置についての記録</p>	<p>厚労令27 第38条第1項</p> <p>厚労令27 第38条第2項 障発0330第21通知 第二の2(33)</p>	
36 その他	<p>(1) 送迎バス等一定台数以上の自動車の使用者は、自動車の使用の本拠(事業所)ごとに、安全運転管理者の選任等を行っているか。</p>	<p>道路交通法第74条の3 道路交通法施行規則 第9条の9,10</p>	
第4 届出等			
1 変更の届出	<p>指定地域移行支援事業者は、支援法施行規則第34条の58第1項第1号に掲げる事項(支援法施行規則第34条の57第1項第1号、第2号、第4号(当該指定に係る事業に関するものに限る。)、第5号から第7号までに掲げる事項)に変更があったとき、又は休止した当該指定地域相談支援の事業を再開したときは、10日以内に、その旨を都道府県知事に届け出ているか。</p> <p>※ 指定地域移行支援事業者が変更の届出を要する事項</p> <p>(1) 事業所の名称及び所在地</p> <p>(2) 申請者の名称及び主たる事務所の所在地並びにその代表者の氏名、生年月日、住所及び職名</p> <p>(3) 申請者の登記事項証明書又は条例等</p> <p>(4) 事業所の平面図</p> <p>(5) 事業所の管理者、指定地域相談支援の提供に当たる者の氏名、生年月日、住所及び経歴</p> <p>(6) 運営規程</p> <p>(7) 当該申請に係る事業に係る地域相談支援給付費の請求に関する事項</p>	<p>支援法第51条の25第1項</p> <p>支援法施行規則第34条の58第1項及び第2項</p> <p>支援法施行規則第34条の57第1項</p>	
2 業務管理体制の整備	<p>(1) 指定地域移行支援事業者は、障害者等の人格を尊重するとともに、支援法又は支援法に基づく命令を遵守し、障害者等のため忠実にその職務を遂行するために、業務管理体制を整備しているか。</p> <p>ア 指定を受けている事業所の数が1以上20未満の指定相談支援事業者</p> <p>(ア) 法令を遵守するための体制の確保に係る責任者(以下「法令遵守責任者」という。)を選任しているか。</p> <p>イ 指定を受けている事業所の数が20以上100未満の指定相談支援事業者</p> <p>(ア) 法令遵守責任者を選任しているか。</p> <p>(イ) 業務が法令に適合することを確保するための規程を整備しているか。</p> <p>ウ 指定を受けている事業所の数が100以上の指定相談支援事業者</p> <p>(ア) 法令遵守責任者の選任をしているか。</p> <p>(イ) 業務が法令に適合することを確保するための規程を整備しているか。</p> <p>(ウ) 業務執行の状況の監査を定期的に行っているか。</p>	<p>支援法第51条の22第3項</p> <p>支援法第51条の31第1項</p> <p>支援法施行規則第34条の61</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
<p>第5 地域相談支援給付費の算定及び取扱い</p> <p>1 基本事項</p>	<p>(2) 指定地域移行支援事業者は、遅滞無く業務管理体制の整備に関する事項を届け出ているか。また、届出書には以下の事項が記載されているか。</p> <p>ア 事業者の名称、主たる事務所の所在地並びにその代表者の氏名、生年月日、住所及び職名</p> <p>イ 法令遵守責任者の氏名及び生年月日</p> <p>ウ 業務が法令に適合することを確保するための規程の概要（指定を受けている事業所の数が20以上の指定相談支援事業者に限る。）</p> <p>エ 業務執行の状況の監査の方法の概要（指定を受けている事業所の数が100以上の指定相談支援事業者に限る。）</p> <p>また、届け出た事項に変更があったときは、遅滞なく当該変更に係る事項について届け出ているか。</p> <p>指定地域移行支援事業者は、地域相談支援給付費等の請求等に関して、福祉サービスの提供実績、各種加算事項等に基づき、正しく請求しているか。</p>	<p>支援法第51条の31第2項 支援法施行規則第34条の62</p> <p>支援法第51条の14第3項 平24厚労告124 平18厚労告523 障発1031001通知</p>	

指 導 検 査 基 準 (指 定 地 域 定 着 支 援)

○根拠法令

「支援法」＝障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年11月7日法律第123号）

「支援法施行規則」＝障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行規則（平成18年2月28日厚労令第19号）

「厚労令27」＝障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定地域相談支援の事業の人員及び運営に関する基準（平成24年3月13日厚生労働省令第27号）

「平24厚労告124」＝障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定地域相談支援に要する費用の額の算定に関する基準（平成24年3月14日厚生労働省告示第124号）

「障発0330第21通知」＝障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定地域相談支援の事業の人員及び運営に関する基準について（平成24年3月30日障発0330第21号）

「障発1031001通知」＝障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス等及び基準該当障害福祉サービスに要する費用の額の算定に関する基準等の制定に伴う実施上の留意事項について（平成18年10月31日障発第1031001号）

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
第1 基本方針	<p>(1) 指定地域定着支援の事業は、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、当該利用者との常時の連絡体制を確保し、当該利用者に対し、障害の特性に起因して生じた緊急の事態その他の緊急に支援が必要な事態が生じた場合に、相談その他の必要な支援が、保健、医療、福祉、就労支援、教育等の関係機関との密接な連携の下で、当該利用者の意向、適性、障害の特性その他の状況及びその置かれている環境に応じて、適切に行われているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援の事業は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立って行われているか。</p> <p>(3) 指定地域定着支援の事業を行う指定一般相談支援事業者（以下、「指定地域定着支援事業者」とする。）は、自らの提供する指定地域定着支援の評価を行い、常にその改善を図っているか。</p> <p>(4) 指定地域定着支援事業者は、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、必要な体制の整備を行うとともに、その従業者に対し、研修を実施する等の措置を講じているか。</p>	<p>支援法第51条の23</p> <p>厚労令27 第39条第1項</p> <p>厚労令27 第39条第2項</p> <p>厚労令27 第39条第3項</p> <p>厚労令27 第39条第4項 令和8年4月30日付8福祉 障発第299号 「施設・事業所における虐待防止体制の整備の徹底について」（通知）</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
第2 人員に関する基準 1 従業者	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援事業所ごとに専ら指定地域定着支援の職務に従事する者（以下、「指定地域定着支援従事者」とする。）を、必ず1人以上置いているか。 （ただし、指定地域定着支援の業務に支障がない場合は、当該指定地域定着支援事業所の他の職務に従事させ、又は他の事業所、施設等の職務に従事させることは差し支えない。）</p> <p>(2) 指定地域定着支援従事者のうち1人以上は、相談支援専門員（指定地域相談支援の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるものをいう。）となっているか。</p>	支援法第51条の23第1項 厚労令27第40条 準用（第3条第1項） 障発0330第21通知第三の1 準用（第二の1（1）） 厚労令27第40条 準用（第3条第2項） 指定地域相談支援の提供に当たる者として厚生労働大臣が定めるもの（平成24年3月30日厚生労働省告示第226号）	
2 管理者	指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援事業所ごとに専らその職務に従事する管理者を置いているか。 （ただし、指定地域定着支援事業所の管理上支障がない場合は、当該事業所の他の職務に従事させ、又は他の事業所、施設等の職務に従事することは差し支えない。）	厚労令27第40条 準用（第4条）	
第3 運営に関する基準 1 内容及び手続の説明及び同意	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、地域相談支援給付決定障害者が指定地域定着支援の利用の申込みを行ったときは、当該利用申込者に係る障害の特性に応じた適切な配慮をしつつ、当該利用申込者に対し、運営規程の概要その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を記した文書を交付して説明を行い、当該指定地域定着支援の提供の開始について当該利用申込者の同意を得ているか。</p> <p>(2) 利用者との間で当該指定地域定着支援の提供に係る契約が成立したときは、利用者の障害の特性に応じた適切な配慮をもって、社会福祉法（昭和26年法律第45号）第77条第1項の規定に基づき、 ア 当該事業の経営者の名称及び主たる事務所の所在地 イ 当該事業の経営者が提供する指定地域定着支援の内容 ウ 当該指定地域定着支援の提供につき利用者が支払うべき額に関する事項 エ 指定地域定着支援の提供開始年月日 オ 指定地域定着支援に係る苦情を受け付けるための窓口を記載した書面を交付しているか。 なお、当該書面に記載すべき事項を電子情報処理組織を使用する方法その他の情報通信の技術を利用する方法による場合、利用者の承諾を得ているか。</p>	支援法第51条の23第2項 厚労令27第45条 準用（第5条第1項） 厚労令27第45条 準用（第5条第2項） 社会福祉法第77条第1項 社会福祉法施行規則第16条第2項 障発0330第21通知第二の2（1）	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
2 契約内容の報告等	指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援の利用に係る契約をしたときは、その旨を区市町村に対し遅滞なく報告しているか。	厚労令27 第45条 準用（第6条）	
3 提供拒否の禁止	<p>指定地域定着支援事業者は、正当な理由がなく指定地域定着支援等の提供を拒んでいないか。特に、障害支援区分や所得の多寡を理由にサービスの提供を拒否していないか。なお、正当な理由がある場合とは、</p> <p>(1) 当該事業所の現員からは利用申込みに応じきれない場合、</p> <p>(2) 利用申込者の入所、入院等する障害者支援施設等、精神科病院、救護施設等又は刑事施設等が当該事業所の通常の実施地域外である場合、</p> <p>(3) 運営規程において主たる対象とする障害の種類を定めている場合であって、これに該当しない者から利用申込みがあった場合、</p> <p>(4) その他利用申込者に対し自ら適切な指定地域定着支援を提供することが困難な場合等をいう。</p>	厚労令27 第45条 準用（第7条） 障発0330第21通知 第三の2（5） 準用（第二の2（3））	
4 連絡調整に対する協力	指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援の利用について区市町村又は指定特定相談支援事業を行う者が行う連絡調整に、できる限り協力しているか。 区市町村又は特定相談支援事業者が行う利用者の紹介、地域のサービス担当者会議への出席依頼等に協力しているか。	厚労令27 第45条 準用（第8条） 障発0330第21通知 第三の2（5） 準用（第二の2（4））	
5 サービス提供困難時の対応	指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援事業所の通常の実施地域等を勘案し、利用申込者に対し自ら適切な指定地域定着支援を提供することが困難であると認めた場合は、適当な他の指定地域定着支援事業者の紹介その他の必要な措置を速やかに講じているか。	厚労令27 第45条 準用（第9条）	
6 受給資格の確認	指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援の提供を求められた場合は、その者の提示する地域相談支援受給者証によって、地域相談支援給付費の支給対象者であること、地域相談支援給付決定の有無、地域相談支援給付決定の有効期間、地域相談支援給付量等を確認しているか。	厚労令27 第45条 準用（第10条）	
7 地域相談支援給付決定の申請に係る援助	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、地域相談支援給付決定を受けていない者から利用の申込みがあった場合は、その者の意向を踏まえて速やかに地域相談支援給付決定の申請が行われるよう必要な援助を行っているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、地域相談支援給付決定に通常要すべき標準的な期間を考慮し、地域相談支援給付決定の有効期間の終了に伴う地域相談支援給付決定の申請について、必要な援助を行っているか。</p>	厚労令27 第45条 準用（第11条第1項） 厚労令27 第45条 準用（第11条第2項）	
8 心身の状況等の把握	指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援の提供に当たっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境、他の保健医療サービス又は福祉サービスの利用状況等の把握に努めているか。	厚労令27 第45条 準用（第12条）	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
9 指定障害福祉サービス事業者等との連携等	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援の提供に当たっては、地域及び家庭との結び付きを重視した運営を行う、区市町村、指定障害福祉サービス事業者等その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援の終了に際しては、利用者又はその家族に対して適切な援助を行うとともに、区市町村、指定障害福祉サービス事業者等その他の保健医療サービス又は福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めているか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用（第13条第1項）</p> <p>厚労令27 第45条 準用（第13条第2項）</p>	
10 身分を証する書類の携行	<p>指定地域定着支援事業者は、従事者に身分を証する書類（証書や名札等）を携行させ、初回訪問時及び利用者又はその家族から求められたときは、これを提示すべき旨を指導しているか。 また、証書や名札等には、事業所の名称、当該従事者の氏名の記載があるか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用（第14条） 障発0330第21通知 第三の2（5） 準用（第二の2（8））</p>	
11 サービスの提供の記録	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援を提供した際は、当該指定地域定着支援の提供日、提供したサービスの具体的内容等の利用者へ伝達すべき必要な事項を、当該指定地域定着支援の提供の都度、記録しているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、（1）の規定による記録に際しては、地域相談支援給付決定障害者から指定地域定着支援を提供したことについて確認を受けているか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用（第15条第1項） 障発0330第21通知 第三の2（5） 準用（第二の2（9） ①）</p> <p>厚労令27 第45条 準用（第15条第2項）</p>	
12 指定地域定着支援事業者が地域相談支援給付決定障害者に求めることのできる金銭の支払の範囲等	<p>(1) 指定地域定着支援事業者が、指定地域定着支援を提供する地域相談支援給付決定障害者に対して金銭の支払を求めることができるのは、当該金銭の用途が直接利用者の便益を向上させるものであって、当該地域相談支援給付決定障害者に支払を求めることが適当であるものに限られているか。 また、指定地域定着支援のサービス提供の一環として行われるものではないサービスの提供に要する費用であるか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用（第16条第1項） 障発0330第21通知 第三の2（5） 準用（第二の2（10） ①）</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
13 地域相談支援給付費の額等の受領	<p>(2) (1)の規定により金銭の支払を求める際は、当該金銭の用途及び額並びに地域相談支援給付決定障害者に金銭の支払を求める理由について書面によって明らかにするとともに、地域相談支援給付決定障害者に対し説明を行い、その同意を得ているか。 (ただし、13の(1)及び(2)に掲げる支払については、この限りでない。)</p> <p>(1) 指定地域定着支援事業者は、法定代理受領を行わない指定地域定着支援を提供した際は、地域相談支援給付決定障害者から当該指定地域定着支援につき支援法51条の14第3項に規定する厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額(その額が現に当該指定地域相談支援に要した費用の額を超えるときは、当該現に指定地域相談支援に要した費用の額)の支払いを受けているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、(1)の支払を受ける額のほか、地域相談支援給付決定障害者の選定により通常の事業の実施地域以外の地域の利用者を訪問して指定地域定着支援を提供する場合にのみ、地域相談支援給付決定障害者からそれに要した交通費の額の支払いを受けているか。</p> <p>(3) 指定地域定着支援事業者は、(1)及び(2)までに掲げる費用の額の支払を受けた場合は、当該費用に係る領収証を当該費用の額を支払った地域相談支援給付決定障害者に対し交付しているか。</p> <p>(4) 指定地域定着支援事業者は、(2)の交通費については、あらかじめ、地域相談支援給付決定障害者に対し、当該サービス内容及び費用について説明を行い、地域相談支援給付決定障害者の同意を得ているか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用(第16条第2項) 障発0330第21通知 第三の2(5) 準用(第二の2(10) ②)</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第17条第1項)</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第17条第2項)</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第17条第3項)</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第17条第4項)</p>	
14 地域相談支援給付費の額に係る通知等	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、法定代理受領により区市町村から指定地域定着支援に係る地域相談支援給付費の支給を受けた場合は、地域相談支援給付決定障害者に対し、当該地域相談支援給付決定障害者に係る地域相談支援給付費の額を通知しているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、13の(1)の法定代理受領を行わない指定地域定着支援に係る費用の額の支払を受けた場合は、その提供した指定地域定着支援の内容、費用の額その他必要と認められる事項を記載したサービス提供証明書を地域相談支援給付決定障害者に対して交付しているか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用(第18条第1項)</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第18条第2項)</p>	
15 指定地域定着支援の具体的取扱方針	<p>指定地域定着支援の方針は、第1に規定する基本方針に基づき、次に掲げるところとなっているか。</p> <p>(1) 指定地域定着支援事業所の管理者は、指定地域定着支援従事者に、基本相談支援に関する業務及び地域定着支援台帳の作成その他指定地域定着支援に関する業務を担当させているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業所の管理者は、相談支援専門員に、相談支援専門員以外の指定地域定着支援従事者に対する技術的指導及び助言を行わせているか。</p> <p>(3) 指定地域定着支援事業者は、利用者の心身の状況等に応じて、その者の支援を適切に行っているか。</p>	<p>厚労令27 第41条</p> <p>厚労令27 第41条第1号</p> <p>厚労令27 第41条第2号</p> <p>厚労令27 第41条第3号</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
16 地域定着支援台帳の作成等	<p>(4) 指定地域定着支援の提供に当たっては、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の意思決定支援に配慮しているか。</p> <p>(5) 指定地域定着支援の提供に当たっては、利用者の立場に立って懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者又はその家族に対し、サービスの提供方法等について、理解しやすいように説明を行うとともに、必要に応じ、同じ障害を有する者による支援等適切な手法を通じて行っているか。</p> <p>(1) 指定地域定着支援従事者は、利用者の心身の状況、その置かれている環境、緊急時において必要となる当該利用者の家族等及び当該利用者が利用する指定障害福祉サービス事業者等、医療機関その他の関係機関の連絡先その他の利用者に関する情報を記載した指定地域定着支援に係る台帳（以下「地域定着支援台帳」という。）を作成しているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援従事者は、地域定着支援台帳の作成に当たって、利用者の自己決定の尊重及び意思決定の支援に配慮しつつ適切な方法によりアセスメントを行っているか。</p> <p>(3) 指定地域定着支援従事者は、アセスメントに当たっては、利用者に面接しているか。この場合において、指定地域定着支援従事者は、面接の趣旨を利用者に対して十分に説明し、理解を得ているか。</p> <p>(4) 指定地域定着支援従事者は、アセスメントに当たっては、利用者が自らの意思決定に困難を抱える場合、利用者の意思及び選好並びに判断能力等について丁寧に把握しているか。</p> <p>(5) 指定地域定着支援従事者は、地域定着支援台帳の作成後においても、適宜、地域定着支援台帳の見直しを行い、必要に応じて、地域定着支援台帳の変更を行っているか。</p> <p>(6) 地域定着支援台帳に変更のあった場合、（2）から（4）に準じて取り扱っているか。</p>	<p>厚労令27 第41条第4号</p> <p>厚労令27 第41条第5号</p> <p>厚労令27 第42条第1項</p> <p>厚労令27 第42条第2項</p> <p>厚労令27 第42条第3項</p> <p>厚労令27 第42条第4項</p> <p>厚労令27 第42条第5項</p> <p>厚労令27 第42条第6項</p>	
17 常時の連絡体制の確保等	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、利用者の心身の状況及び障害の特性等に応じ、適切な方法により、当該利用者又はその家族との常時の連絡体制を確保しているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、適宜利用者の居宅への訪問等を行い、利用者の状況を把握しているか。</p>	<p>厚労令27 第43条第1項</p> <p>厚労令27 第43条第2項</p>	
18 緊急の事態における支援等	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、利用者の障害の特性に起因して生じた緊急の事態その他の緊急に支援が必要な事態が生じた場合には、速やかに当該利用者の居宅への訪問等による状況把握を行っているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、（1）の状況把握を踏まえ、当該利用者が置かれている状況に応じて、当該利用者の家族、当該利用者が利用する指定障害福祉サービス事業者等、医療機関その他の関係機関との連絡調整、一時的な滞在による支援その他の必要な措置を適切に講じているか。 ただし、指定地域定着支援事業者は、一時的な滞在による支援について、指定障害福祉サービス事業者等への委託により行うことができる。</p>	<p>厚労令27 第44条第1項</p> <p>厚労令27 第44条第2項及び第4項</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
	(3) 指定地域定着支援事業者は、(2)の一時的な滞在による支援について、ア及びイに掲げる要件を満たす場所において行っているか。 ア 利用者が一時的な滞在を行うために必要な広さの区画を有するとともに、一時的な滞りに必要な設備及び備品等を備えていること。 イ 衛生的に管理されている場所であること。	厚労令27 第44条第3項	
19 地域相談支援給付決定障害者に関する区市町村への通知	指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援を受けている地域相談支援給付決定障害者が偽りその他不正な行為によって地域相談支援給付費の支給を受け、又は受けようとしたときは、遅滞なく、意見を付してその旨を区市町村に通知しているか。	厚労令27 第45条 準用(第25条)	
20 管理者の責務	(1) 指定地域定着支援事業所の管理者は、指定地域定着支援従事者その他の従業者の管理、指定地域定着支援の利用申込みに係る調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行っているか。 (2) 指定地域定着支援事業所の管理者は、指定地域定着支援従事者に、厚労令27第3章の規定を遵守させるために必要な指揮命令を行っているか。	厚労令27 第45条 準用(第26条第1項) 厚労令27 第45条 準用(第26条第2項)	
21 運営規程	指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援事業所ごとに、次に掲げる事業の運営についての重要事項に関する運営規程を定めてあるか。 (1) 事業の目的及び運営の方針 (2) 従業者の職種、員数及び職務の内容 (3) 営業日及び営業時間 (4) 指定地域定着支援の提供方法及び内容並びに地域相談支援給付決定障害者から受領する費用の種類及びその額 (5) 通常の事業の実施地域 (6) 事業の主たる対象とする障害の種類を定めた場合には当該障害の種類 (7) 虐待の防止のための措置に関する事項 (8) その他運営に関する重要事項	厚労令27 第45条 準用(第27条)	
22 勤務体制の確保等	(1) 指定地域定着支援事業者は、利用者に対し、適切な指定地域定着支援を提供できるよう、指定地域定着支援事業所ごとに、指定地域定着支援従事者その他の従業者の勤務体制を定めているか。 原則として月ごとの勤務表を作成し、従業者については、日々の勤務時間、職務の内容、常勤・非常勤の別、管理者との兼務関係等を明確にしているか。 (2) 指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援事業所ごとに、当該指定地域定着支援事業所の地域定着支援従事者によって指定地域定着支援を提供しているか。 (ただし、18の(2)の規定により指定障害福祉サービス事業者等への委託により行われる一時的な滞在による支援についてはこの限りでない。)	厚労令27 第45条 準用(第28条第1項) 障害0330第21通知 第三の2(5) 準用(第二の2(22) ①) 厚労令27 第45条 準用(第28条第2項)	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
	<p>(3) 指定地域定着支援事業者は、(2)のただし書の規定により指定地域定着支援に係る業務の一部を他の指定地域定着支援事業者に行わせる場合にあつては、当該事業者の業務の実施状況について定期的に確認し、その結果等を記録しているか。</p> <p>(4) 指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援従事者の資質の向上のために、その研修の機会を確保しているか。研修機関が実施する研修や当該指定地域定着支援事業所内の研修への参加の機会を計画的に確保しているか。</p> <p>(5) 指定地域定着支援事業者は、適切な指定地域定着支援の提供を確保する観点から、職場において行われる性的な言動又は優越的な関係を背景とした言動であつて業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより従業者の就業環境が害されることを防止するための方針の明確化等の必要な措置を講じているか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用(第28条第3項)</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第28条第4項) 障発0330第21通知 第三の2(5) 準用(第二の2(22) ④)</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第28条第5項) 障発0330第21通知 第三の2(5) 準用(第二の2(22) ⑤)</p>	
22の2 業務継続計画の策定等	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、感染症や非常災害の発生時において、利用者に対する指定地域定着支援の提供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画(以下「業務継続計画」という。)を策定し、当該業務継続計画に従い必要な措置を講じているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、従業者に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的実施しているか。</p> <p>(3) 指定地域定着支援事業者は、定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行っているか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用(第28条の2第1項) 障発0330第21通知 第三の2(5) 準用(第二の2(23))</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第28条の2第2項)</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第28条の2第3項)</p>	
23 設備及び備品等	<p>指定地域定着支援事業者は、事業を行うために必要な広さの区画を有するとともに、指定地域定着支援の提供に必要な設備及び備品等を備えているか。(貸与を受けているものでも可)</p> <p>(1) 専用の事務室又は明確に特定されている区画があるか。</p> <p>(2) 申込みの受付、相談、計画作成会議等に対応するのに適切なスペースを確保しているか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用(第29条) 障発0330第21通知 第三の2(5) 準用(第二の2(24))</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
24 衛生管理等	<p>(3) 必要な設備・備品等を確保しているか。(ただし、同一敷地内にある事業所、施設ごとに運営上支障がない場合は、他の事業所、施設等の設備及び備品等を使用することは差し支えない。)</p> <p>(1) 指定地域定着支援事業者は、従業者の清潔の保持及び健康状態について、必要な管理を行っているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援事業所の設備及び備品等について、衛生的な管理に努めているか。</p> <p>(3) 指定地域定着支援事業者は、当該指定地域定着支援事業所において感染症が発生し、又はまん延しないように、次に掲げる措置を講じているか。</p> <p>ア 当該指定地域定着支援事業所における感染症の予防及びまん延の防止のための対策を検討する委員会(テレビ電話装置その他の情報通信機器 以下「テレビ電話装置等」という。)を活用して行うことができるものとする。)を定期的に開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図ること。</p> <p>イ 当該指定地域定着支援事業所における感染症の予防及びまん延の防止のための指針を整備すること。</p> <p>ウ 当該指定地域定着支援事業所において、従業者に対し、感染症の予防及びまん延の防止のための研修及び訓練を定期的実施すること。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用(第30条第1項)</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第30条第2項)</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第30条第3項) 障発0330第21通知 第三の2(5) 準用(第二の2(25)②)</p>	
25 掲示等	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援事業所の見やすい場所に、運営規程の概要、基本相談支援及び地域定着支援の実施状況、指定地域定着支援従事者の有する資格、経験年数及び勤務の体制その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を掲示しているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、(1)に規定する事項を記載した書面を当該指定地域定着支援事業所に備え付け、かつ、これをいつでも関係者に自由に閲覧させることにより、(1)の規定による掲示に代えることができる。</p> <p>(3) 指定地域定着支援事業者は、(1)に規定する重要事項の公表に努めているか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用(第31条第1項)</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第31条第2項)</p> <p>厚労令27 第45条 準用(第31条第3項)</p>	
26 秘密保持等	<p>(1) 指定地域定着支援事業所の従業者及び管理者は、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らしていないか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用(第32条第1項)</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
27 情報の提供等	<p>(2) 指定地域定着支援事業者は、従業者及び管理者であった者が、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らすことがないよう、必要な措置を講じているか。</p> <p>(3) 指定地域定着支援事業者は、計画作成会議等において、利用者又はその家族の個人情報を用いる場合は、あらかじめ文書により当該利用者又はその家族の同意を得ているか。</p> <p>(1) 指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援を利用しようとする者が、これを適切かつ円滑に利用することができるように、当該指定地域定着支援事業者が実施する事業の内容に関する情報の提供を行うよう努めているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、当該指定地域定着支援事業者について広告をする場合においては、その内容が虚偽又は誇大なものとなっていないか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用（第32条第2項）</p> <p>厚労令27 第45条 準用（第32条第3項）</p> <p>厚労令27 第45条 準用（第33条第1項）</p> <p>厚労令27 第45条 準用（第33条第2項）</p>	
28 利益供与等の禁止	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、指定特定相談支援事業者若しくは障害福祉サービスの事業を行う者等又はその従業者に 対し、利用者又はその家族に対して当該指定地域定着支援事業者を紹介することの対償として、金品その他の財産上の 利益を供与していないか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、指定特定相談支援事業者若しくは障害福祉サービスの事業を行う者等又はその従業者か ら、利用者又はその家族を紹介することの対償として、金品その他の財産上の利益を収受していないか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用（第34条第1項）</p> <p>厚労令27 第45条 準用（第34条第2項）</p>	
29 苦情解決	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、その提供した指定地域定着支援に関する利用者又はその家族からの苦情に迅速かつ適切 に対応するために、苦情を受け付けるための窓口を設置する等の必要な措置を講じているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、（1）の苦情を受け付けた場合には、当該苦情の内容等について記録しているか。</p> <p>(3) 指定地域定着支援事業者は、その提供した指定地域定着支援に関し、支援法第10条第1項の規定により区市町村が行う 報告若しくは文書その他の物件の提出若しくは提示の命令又は当該職員からの質問若しくは指定地域定着支援事業所の 設備若しくは帳簿書類その他の物件の検査に応じ、及び利用者又はその家族からの苦情に関して区市町村が行う調査に 協力するとともに、区市町村から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行っている か。</p> <p>(4) 指定地域定着支援事業者は、その提供した指定地域定着支援に関し、支援法第11条第2項の規定により都道府県知事が 行う報告若しくは指定地域定着支援の提供の記録、帳簿書類その他の物件の提出若しくは提示の命令又は当該職員から の質問に応じ、及び利用者又はその家族からの苦情に関して都道府県知事が行う調査に協力するとともに、都道府県知 事から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行っているか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用（第35条第1項）</p> <p>厚労令27 第45条 準用（第35条第2項）</p> <p>厚労令27 第45条 準用（第35条第3項）</p> <p>厚労令27 第45条 準用（第35条第4項）</p>	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
30 事故発生時の対応	(5) 指定地域定着支援事業者は、その提供した指定地域定着支援に関し、支援法第51条の27第1項の規定により都道府県知事又は区市町村長が行う報告若しくは帳簿書類その他の物件の提出若しくは提示の命令又は当該職員からの質問若しくは指定地域定着支援事業所の設備若しくは帳簿書類その他の物件の検査に応じ、及び利用者又はその家族からの苦情に関して都道府県知事又は区市町村長が行う調査に協力するとともに、都道府県知事又は区市町村長から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行っているか。	厚労令27 第45条 準用（第35条第5項）	
	(6) 指定地域定着支援事業者は、都道府県知事、区市町村又は区市町村長から求めがあった場合には、（3）から（5）までの改善の内容を都道府県知事、区市町村又は区市町村長に報告しているか。	厚労令27 第45条 準用（第35条第6項）	
	(7) 指定地域定着支援事業者は、社会福祉法第83条に規定する運営適正化委員会が同法第85条の規定により行う調査又はあっせんのできる限り協力しているか。	厚労令27 第45条 準用（第35条第7項）	
	(1) 指定地域定着支援事業者は、利用者に対する指定地域定着支援の提供により事故が発生した場合は、都道府県、区市町村、当該利用者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じているか。 なお、都への報告対象事故等については、以下のとおり。 ア 死亡事故（誤嚥によるもの等） イ 入院を要した事故（持病による入院等は除く） ウ（イ以外の）医療機関での治療を要する負傷や疾病を伴う事故 エ 薬の誤与薬（誤与薬後、利用者の様子に変化がある場合は要報告） オ 無断外出 カ 感染症の集団感染 キ 送迎中の事故及び送迎車両の車内への利用者の置き去り事故 ク 事件性のあるもの（職員による暴力事件等） ケ 保護者や関係者とのトラブル発生が予想されるもの コ 施設運営上の事故の発生（不正会計処理、送迎中の交通事故、個人情報の流出等） サ 区市町村に虐待通報をした場合（通報した内容等） シ その他特に報告の必要があると施設が判断したもの	厚労令27 第45条 準用（第36条第1項） 令和8年4月30日付8福祉障施第298号「施設・事業所における事故等防止対策の徹底について」（通知）	
	(2) 指定地域定着支援事業者は、（1）の事故の状況及び事故に際して採った処置について、記録しているか。	厚労令27 第45条 準用（第36条第2項）	
	(3) 指定地域定着支援事業者は、利用者に対する指定地域定着支援の提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行っているか。	厚労令27 第45条 準用（第36条第3項）	

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
31 虐待の防止	<p>指定地域定着支援事業者は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次に掲げる措置を講じているか。</p> <p>ア 当該指定地域定着支援事業所における虐待の防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。）を定期的に開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図ること。</p> <p>イ 当該指定地域定着支援事業所において、従業者に対し、虐待の防止のための研修を定期的に実施すること。</p> <p>ウ ア及びイに掲げる措置を適切に実施するための担当者を置くこと。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用（第36条の2） 令和8年4月30日付8福祉 障施第299号「施設・事 業所における虐待防止 体制の整備の徹底につ いて」（通知）</p>	
32 会計の区分	<p>指定地域定着支援事業者は、指定地域定着支援事業所ごとに経理を区分するとともに、指定地域定着支援の事業の会計をその他の事業の会計と区分しているか。</p>	<p>厚労令27 第45条 準用（第37条）</p>	
33 記録の整備	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、従業者、設備、備品及び会計に関する諸記録を整備してあるか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、利用者に対する指定地域定着支援の提供に関する諸記録を整備し、少なくとも次に掲げる記録を当該指定地域定着支援を提供した日から5年間保存しているか。</p> <p>ア 11に規定する指定地域定着支援の提供に係る記録</p> <p>イ 16に規定する地域定着支援台帳</p> <p>ウ 19に規定する区市町村への通知に係る記録</p> <p>エ 29に規定する苦情の内容等に係る記録</p> <p>オ 30に規定する事故の状況及び事故に際して採った処置についての記録</p>	<p>厚労令27 第45条 準用（第38条第1項）</p> <p>厚労令27 第45条 準用（第38条第2項） 障発0330第21通知 第三の2（5） 準用（第二の2(33)）</p>	
34 その他	<p>(1) 送迎バス等一定台数以上の自動車の使用者は、自動車の使用の本拠(事業所)ごとに、安全運転管理者の選任等を行っているか。</p>	<p>道路交通法第74条の3 道路交通法施行規則第9 条の9, 10</p>	
第4 届出等			

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
1 変更の届出	<p>指定地域定着支援事業者は、支援法施行規則第34条の58第1項第1号に掲げる事項（支援法施行規則第34条の57第1項第1号、第2号、第4号（当該指定に係る事業に関するものに限る。）、第5号から第7号までに掲げる事項）に変更があったとき、又は休止した当該指定地域相談支援の事業を再開したときは、10日以内に、その旨を都道府県知事に届け出ているか。</p> <p>※指定地域定着支援事業者が変更の届出を要する事項</p> <p>(1) 事業所の名称及び所在地</p> <p>(2) 申請者の名称及び主たる事務所の所在地並びにその代表者の氏名、生年月日、住所及び職名</p> <p>(3) 申請者の登記事項証明書又は条例等</p> <p>(4) 事業所の平面図</p> <p>(5) 事業所の管理者、指定地域相談支援の提供に当たる者の氏名、生年月日、住所及び経歴</p> <p>(6) 運営規程</p> <p>(7) 当該申請に係る事業に係る地域相談支援給付費の請求に関する事項</p>	支援法第51条の25第1項 支援法施行規則第34条の58第1項及び第2項 支援法施行規則第34条の57第1項	
2 業務管理体制の整備	<p>(1) 指定地域定着支援事業者は、障害者等の人格を尊重するとともに、支援法又は支援法に基づく命令を遵守し、障害者等のため忠実にその職務を遂行するために、業務管理体制を整備しているか。</p> <p>ア 指定を受けている事業所の数が1以上20未満の指定相談支援事業者</p> <p>(ア) 法令を遵守するための体制の確保に係る責任者（以下「法令遵守責任者」という。）を選任しているか。</p> <p>イ 指定を受けている事業所及び施設の数が20以上100未満の指定相談支援事業者</p> <p>(ア) 法令遵守責任者を選任しているか。</p> <p>(イ) 業務が法令に適合することを確保するための規程を整備しているか。</p> <p>ウ 指定を受けている事業所及び施設の数が100以上の指定相談支援事業者</p> <p>(ア) 法令遵守責任者の選任をしているか。</p> <p>(イ) 業務が法令に適合することを確保するための規程を整備しているか。</p> <p>(ウ) 業務執行の状況の監査を定期的に行っているか。</p> <p>(2) 指定地域定着支援事業者は、遅滞無く業務管理体制の整備に関する事項を届け出ているか。また、届出書には以下の事項が記載されているか。</p> <p>ア 事業者の名称、主たる事務所の所在地並びにその代表者の氏名、生年月日、住所及び職名</p> <p>イ 法令遵守責任者の氏名及び生年月日</p> <p>ウ 業務が法令に適合することを確保するための規程の概要（指定を受けている事業所の数が20以上の指定相談支援事業者に限る。）</p> <p>エ 業務執行の状況の監査の方法の概要（指定を受けている事業所の数が100以上の指定相談支援事業者に限る。）</p> <p>また、届け出た事項に変更があったときは、遅滞なく当該変更に係る事項について届け出ているか。</p>	支援法第51条の22第3項 支援法第51条の31第1項 支援法施行規則第34条の61	支援法第51条の31第2項 支援法施行規則第34条の62
第5 地域相談支援給付費の算定及び取扱い			

項 目	基 本 的 な 考 え 方	根 拠 法 令	備 考
1 基本事項	指定地域定着支援事業者は、地域相談支援給付費等の請求等に関して、福祉サービスの提供実績、各種加算事項等に基づき、正しく請求しているか。	支援法第51条の14第3項 平24厚労告124 平18厚労告523 障発1031001通知	